

# 雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨

TEL 025-552-9901



(2130)No.80 発行 2019年12月26日



## 第19回例会(12/23)報告

★出席者＝青木、田鹿、松澤、加藤、渡辺光、白沢、小川、内山、太田、大瀬、田中、渡辺悦、大竹、池亀、比護(15名)

### ★行事・山行等活動報告・・・(12月9日例会以降)

\*12月10日(火)・・・奥只見丸山スキー＝平野

\*12月11日(水)・・・根知・戸倉山 975m＝白沢

\*12月15日(日)・・・長野・京ヶ倉 990m、大城 980m＝加藤、白沢

▼一か月前に初めて京ヶ倉、大城を訪れ、天候に恵まれて大きく蛇行する犀川とその奥に横たわる北アルプスの絶景を眺めてきた。この時は雪が少なく黒い北アルプスだったので、真っ白になった北アルプス見てみたいと思い再訪した。

▼この日の天気予報はマズマズで、期待をして山頂を目指す。スタートは曇り空。登山道に入って少しすると右下に生坂ダム湖が見え、エメラルドグリーン湖面が輝いて見える。緩急を繰り返しながら、張られたロープも頼りにしながら高度を上げる。変化やスリルがあって面白く、登りがいいがある。ようやく稜線に登りつめて左に折れる。天気がよくなってきて青空が見えるようになる。

▼稜線は岩山となっていて、緩いアップダウンや左右が切れ落ちた少し広めの馬の背、岩場やハン

ゴの箇所など変化のあるコースを慎重に歩いて京ヶ倉山頂に到着。眼下に生坂村市街地の中を大きく蛇行した犀川の流れや北アルプスの眺めに同行者も喜ぶ。二人で「すごいネ～。きれいだネ～」。さらに先へ足を延ばして大城を往復する。途中は松林の中で景色を見ることができない。大城山頂は東側に聖高原の聖山などが見えている程度。休憩後に京ヶ倉に引き返して昼食タイム。

▼青空が広がり、白く輝く北アルプスが美しく見えて感激。一か月前は何人か登山者がいたが、今日は二人だけの貸し切り山頂で、ビール片手に景色を眺めながらのんびり。今度は5月頃に残雪の北アルプスを眺めてみたい。皆さんにもこの景色を見てほしいと思いながら登山口に戻る。(加藤)

\*12月16日(月)・・・青海・名引山 225m＝佐藤、加藤、松尾、斉藤春、渡辺久

▼12月初冬の貴重な晴れ間で快晴の青空となる。青海神社側から入って旧三峰荘側を下る。まだ雪はなく、落ち葉を踏みしめながら気持ちよく歩く。クマやイノシシが頻繁に出没していることもあり、笛を吹きながら周囲に警戒。途中の陽だまりで景色を

眺めながらコーヒープレイク。キノコを探しながら楽しく歩いて登山口に戻る。2時間少々のハイキングは実に楽しかった。下山後、入浴施設で汗を流し、昼食・休憩して解散となる。

\*12月22日(日)・・・松本・戸谷峰＝加藤、渡辺光、内山、大瀬、渡辺久、渡辺悦

\*12月22日(日)・・・松本・戸谷峰＝加藤、渡辺光、内山、大瀬、渡辺久、渡辺悦

\*12月22日(日)・・・根知・戸倉山＝池亀

☆皆さんから山行報告していただきました！

## ★今後の行事・山行等計画・・・(氏名は参加予定者)

《冬山となりました。しっかり計画、しっかり準備。計画を出し合い、誘い合って楽しみましょう！》

2020年

\*1月11-12日(土日)・・・山梨・釈迦ヶ岳、王岳＝加藤、渡辺光、内山、太田、大瀬、渡辺久、渡辺悦

\*1月31日(金)・・・2020 新年会

＝青木、田鹿、松沢、鈴木、加藤、渡辺光、白沢、小川、内山、太田、大瀬、田中、渡辺久、渡辺悦、大竹

▲会場＝決まり次第お知らせします ▲時間＝18時30分から ▲会費＝4,000円程度

▲今年の山行の思い出話やこれからの山行計画で親睦を深めましょう。多数の皆さんの出席をお願いいたします。

\*2月14-15日(金土)・・・会山行北八・縞枯れ山、茶臼山&ゲレンデスキー＝田鹿、加藤、白沢、小川

\*3月8日(日)・・・兵庫・六甲山(西コース)縦走＝大竹

## ★会費、労山基金掛金納入のお願い・・・

\*すでに例会や会報・雪洞でお知らせ・お願いしましたが、年会費及び労山基金掛金を納入していただく時期となりました。早めに小川会計担当に納入してください。

また、労山基金加入口数を変更(増・減)する人は、12月末までに事務局(加藤)に申し出てください。変更の申し出がない場合は今年と同じ口数で更新手続きを行います。

当会の労山基金は1月末が期限(満期)となっていますので、1月上旬には更新手続きを行います。

## ★登山時報購読料納入のお願い・・・

\*登山時報購読者は、12月末までに購読料3,600円を青木会長に納入してください。

## ★退会がありました・・・

\*鶴本修一さんは12月末で退会されます。鶴本さんは1987年ころ入会し、その後、会の事務局長を歴任されました。この時には会創立15周年を間近に控えていて、みんなで「糸魚川勤労者山岳会15周年記念誌」を作ろうということになり、鶴本さんが中心になって約2年がかりでまとめていただき、発刊に至りました。その後の会の発展に尽力していただきました。長い間ありがとうございました。

鶴本さんからの退会届をいただきましたので紹介します。

この度、一身上の事由により、12月末をもちまして退会させていただきます。長い間、大変お世話になりました。何もできませんでしたが、お許してください。

皆様のご健勝と会の発展をお祈りいたします。

鶴本修一



【例会報告 つづく】